

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第26週の発生動向

トピックス

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

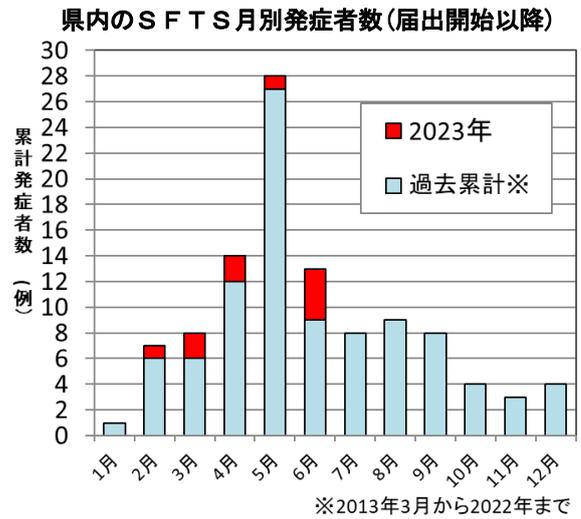
(全数報告の感染症) の報告が宮崎市保健所管内からあった。患者は60歳代の女性で、ダニの刺し口は確認できなかった。また、6月中旬に発症し、6月下旬に死亡した。県内での報告は、累計107例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	5	25	41	26	6

インフルエンザ(定点把握対象の疾患)

中央保健所管内の定点当たりの報告数(59.0)が、先週(10.0)と比較して5.9倍と増加した。流行警報レベル開始基準値(30)を大きく上回っており、今後の動向に注意が必要である。宮崎県全体では7.3(前週6.8)となっている。詳細後述。



全数報告の感染症 (26週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。
- 2類感染症：結核1例。
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例。
- 5類感染症：侵襲性インフルエンザ菌感染症1例、梅毒10例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等	
2類	結核	宮崎市	80歳代	女	結核性胸膜炎	微熱	
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	10歳代	男	—	水様性下痢、O26(VT1)	
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	60歳代	女	—	発熱、神経症状、腹痛、下痢、嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、出血傾向、紫斑	
5類	梅毒	宮崎市	50歳代	男	—	侵襲性インフルエンザ菌感染症	頭痛、発熱、痙攣、意識障害、項部硬直、髄膜炎、菌血症
			10歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結	
			20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳	
			20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性パラ疹	
			20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結	
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし	
			30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳	
			30歳代	男	無症状病原体保有者	なし	
			50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳	
			都城	10歳代	女	無症状病原体保有者	なし
日向	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳			

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,714人(定点当たり37.2)で、前週比96%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及びヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は560人(9.7)で、前週比134%と増加した。延岡(17.4)、高千穂(13.0)、高鍋(12.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【インフルエンザ】

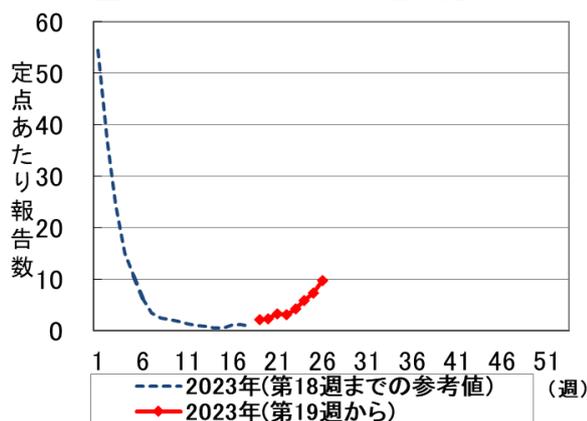
報告数は426人(7.3)で、前週比108%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.09)の約84.1倍であった。中央(59.0)、都城(12.0)、宮崎市(7.9)保健所からの報告が多く、年齢群別は5歳から9歳が全体の約4割を占めた。

【ヘルパンギーナ】

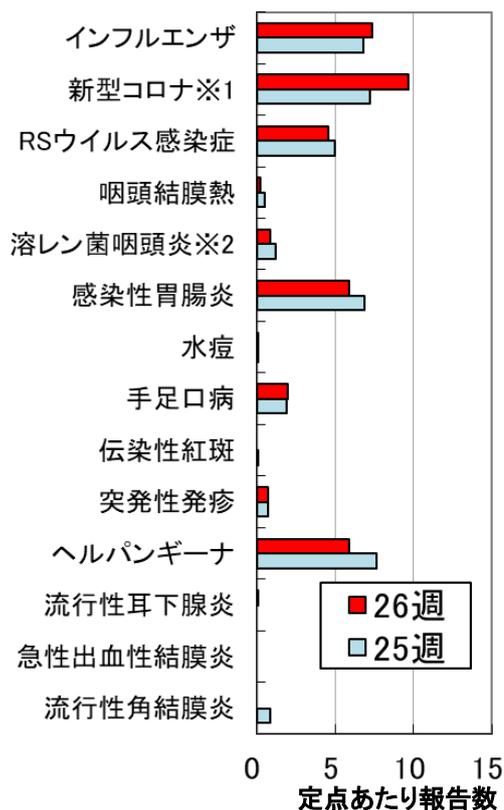
報告数は212人(5.9)で、前週比77%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.51)の約11.5倍であった。小林(12.7)、延岡(10.5)、日向(6.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

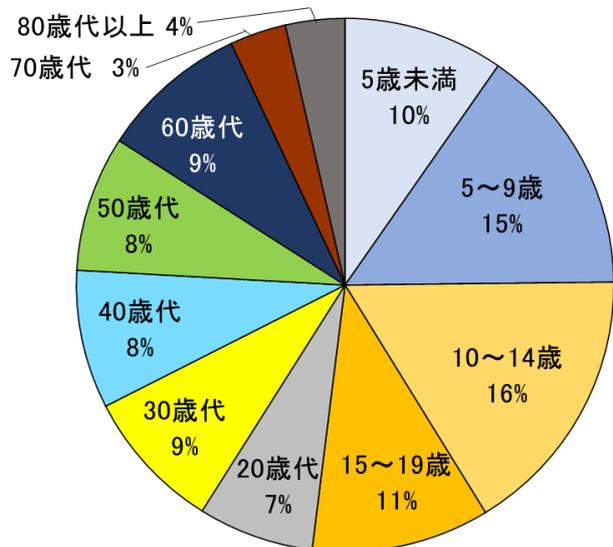
新型コロナウイルス感染症 発生状況



《前週との比較》

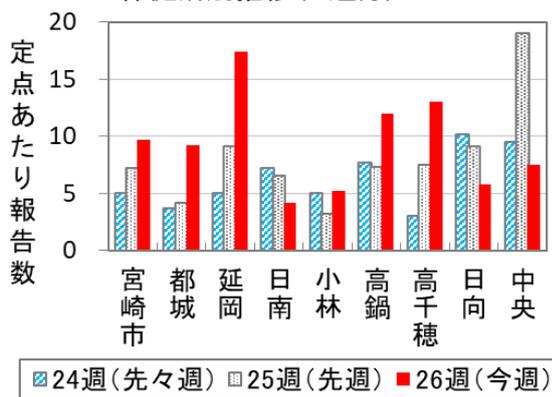


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第26週)

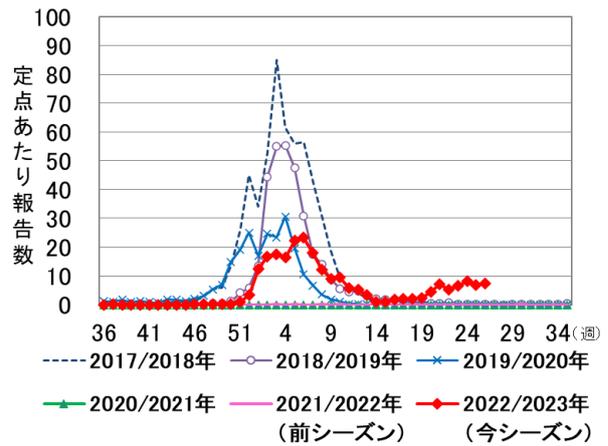


※新型コロナウイルス感染症の第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

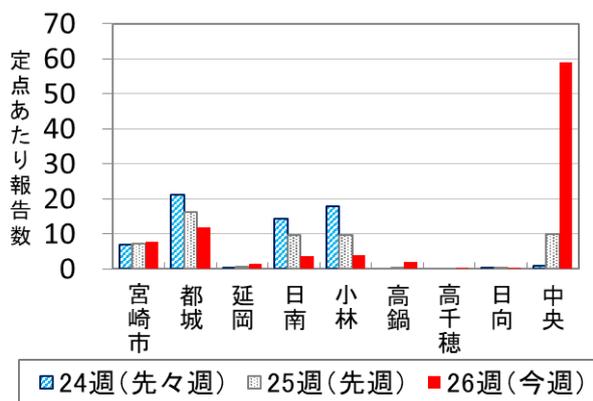
新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3週分)



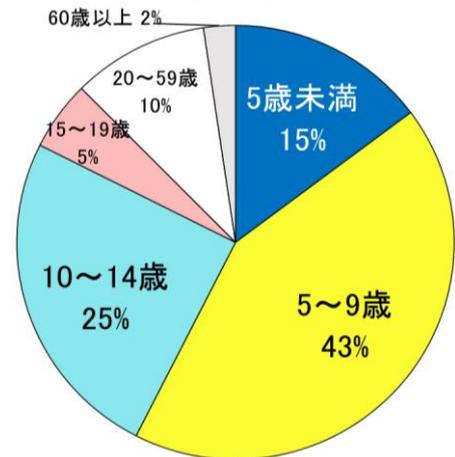
インフルエンザ 発生状況



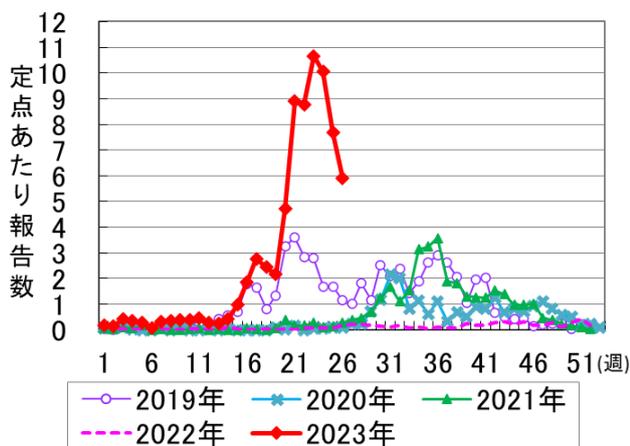
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



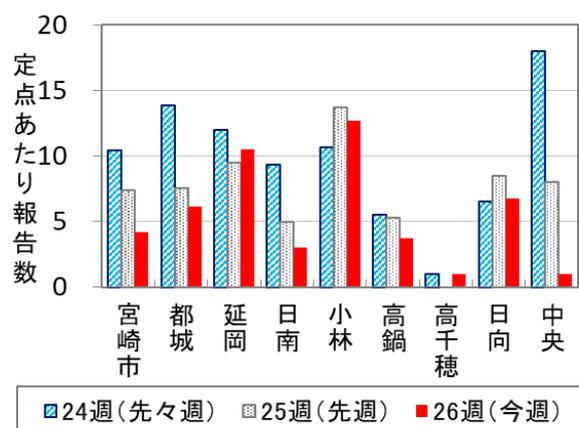
インフルエンザ年齢群別グラフ(第26週)



ヘルパンギーナ 発生状況



ヘルパンギーナ 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	インフルエンザ(12.0)、ヘルパンギーナ(6.2)
延岡	手足口病(7.5)、ヘルパンギーナ(10.5)
日南	なし
小林	ヘルパンギーナ(12.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	手足口病(5.3)、ヘルパンギーナ(6.8)
中央	インフルエンザ(59.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・インフルエンザ(30)
- ・手足口病(5)
- ・ヘルパンギーナ(6)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和5年7月3日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Typhimurium (variant)(O4:i:-)	10歳代	男	2023.05.29	発熱(37.4℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2023.06.02

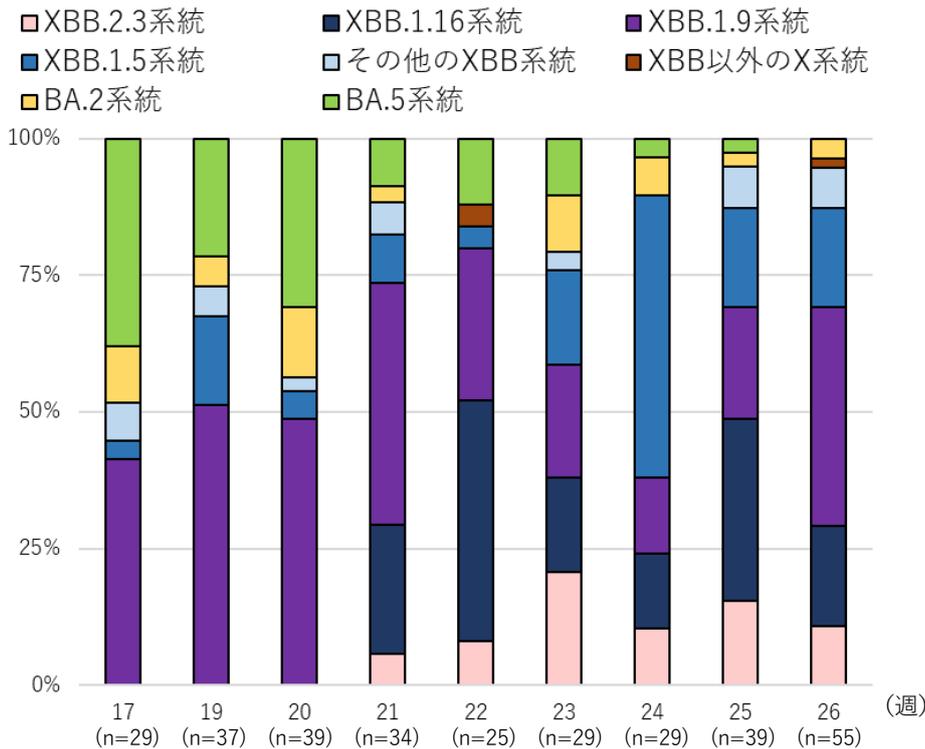
★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Human herpes virus 6	5～9歳	男	2023.04.06	髄膜炎、38.1℃、頸部硬直	咽頭ぬぐい液	2023.06.28
Influenza virus AH3	5～9歳	女	2023.05.22	A型インフルエンザ、39℃、嘔気・嘔吐	咽頭ぬぐい液	2023.06.28
Influenza virus AH3	0～4歳	女	2023.05.29	A型インフルエンザ、40.0℃	咽頭ぬぐい液	2023.06.26
Influenza virus AH3	50歳代	女	2023.06.07	インフルエンザA、37.1℃、咽頭痛、咳	鼻咽頭ぬぐい液	2023.06.28
Coxsackievirus B5	0～4歳	女	2023.06.08	新生児感染症、38.9℃、上気道炎、髄膜炎、腹部膨満	咽頭ぬぐい液	2023.06.27
Influenza virus AH3	10歳代	女	2023.06.12	インフルエンザA型、39.0℃、鼻水、鼻閉、倦怠感、関節痛、咽頭痛	鼻咽頭ぬぐい液	2023.06.28

○髄膜炎の症状を呈する患者2名から、ヒトヘルペスウイルス6型、コクサッキーウイルスB5型が検出、分離された。小児にウイルス性髄膜炎を起こす原因ウイルスは、エンテロウイルスが80%以上を占め、次いでムンプスウイルス、ヘルペス属ウイルス、アルボウイルスなどが挙げられる。エンテロウイルスの流行には、季節性があり、初夏から秋にかけて増加するため、今後の発生動向に注視する必要がある。

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統



XBB 系統は第 26 週で約 95%を占め、特に XBB. 1. 9 系統が 40%を占めた。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBB は B. J. 1 (BA. 2. 10. 1 系統) / B. M. 1. 1. 1 (BA. 2. 75. 3 系統) の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

🇯🇵 全国 2023 年第 25 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	218 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	96 例	腸チフス	2 例
	E型肝炎	13 例	エムボックス	1 例	回帰熱	3 例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	5 例	つつが虫病	2 例	日本紅斑熱	12 例
	ライム病	1 例	レジオネラ症	73 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	34 例
	急性脳炎	10 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例	後天性免疫不全症候群	9 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	14 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	20 例	水痘(入院例)	5 例	梅毒	218 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	5 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例
	百日咳	30 例	麻しん	1 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比106%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は手足口病、伝染性紅斑及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は30,255人(6.1)で前週比109%と増加した。沖縄県(39.5)、鹿児島県(11.7)、熊本県(8.8)からの報告が多く、年齢群別では20歳未満が全体の約3割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は18,176人(5.8)で前週比129%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.46)の約12.7倍であった。宮城県(14.0)、鹿児島県(12.3)、静岡県(10.1)からの報告が多く、年齢群別では1歳から5歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第26週(06月26日～07月02日)

疾病名		第25週	第26週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	395	426	126	120	10	19	16	13	1	3	118
	定点当り	6.81	7.34	7.88	12.00	1.43	3.80	4.00	2.17	0.50	0.50	59.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	419	560	156	92	122	21	21	72	26	35	15
	定点当り	7.22	9.66	9.75	9.20	17.43	4.20	5.25	12.00	13.00	5.83	7.50
RSウイルス感染症	報告数	179	165	56	28	17	13		16		19	16
	定点当り	4.97	4.58	5.60	4.67	4.25	4.33	0.00	4.00	0.00	4.75	16.00
咽頭結膜熱	報告数	19	9	6	1	1					1	
	定点当り	0.53	0.25	0.60	0.17	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	43	31	18	5	4		1	1		1	1
	定点当り	1.19	0.86	1.80	0.83	1.00	0.00	0.33	0.25	0.00	0.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	248	211	49	42	10	16	37	21	5	26	5
	定点当り	6.89	5.86	4.90	7.00	2.50	5.33	12.33	5.25	5.00	6.50	5.00
水痘	報告数	3	1				1					
	定点当り	0.08	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	69	71	8	6	30	2		4		21	
	定点当り	1.92	1.97	0.80	1.00	7.50	0.67	0.00	1.00	0.00	5.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	26	26	11	4	1	4	3		1	2	
	定点当り	0.72	0.72	1.10	0.67	0.25	1.33	1.00	0.00	1.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	276	212	42	37	42	9	38	15	1	27	1
	定点当り	7.67	5.89	4.20	6.17	10.50	3.00	12.67	3.75	1.00	6.75	1.00
流行性耳下腺炎	報告数		2			2						
	定点当り	0.00	0.06	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	5										
	定点当り	0.83	0.00	0.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～26週)

2類感染症	結核	61例(1)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7例(1)	腸チフス	1例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	10例(1)	つつが虫病	10例
	レジオネラ症	2例		日本紅斑熱
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	4例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	8例	水痘(入院例)	2例
	播種性クリプトコックス症	3例	破傷風	1例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例(1)
			梅毒	100例(10)
			百日咳	4例

()内は今週届出分、再掲